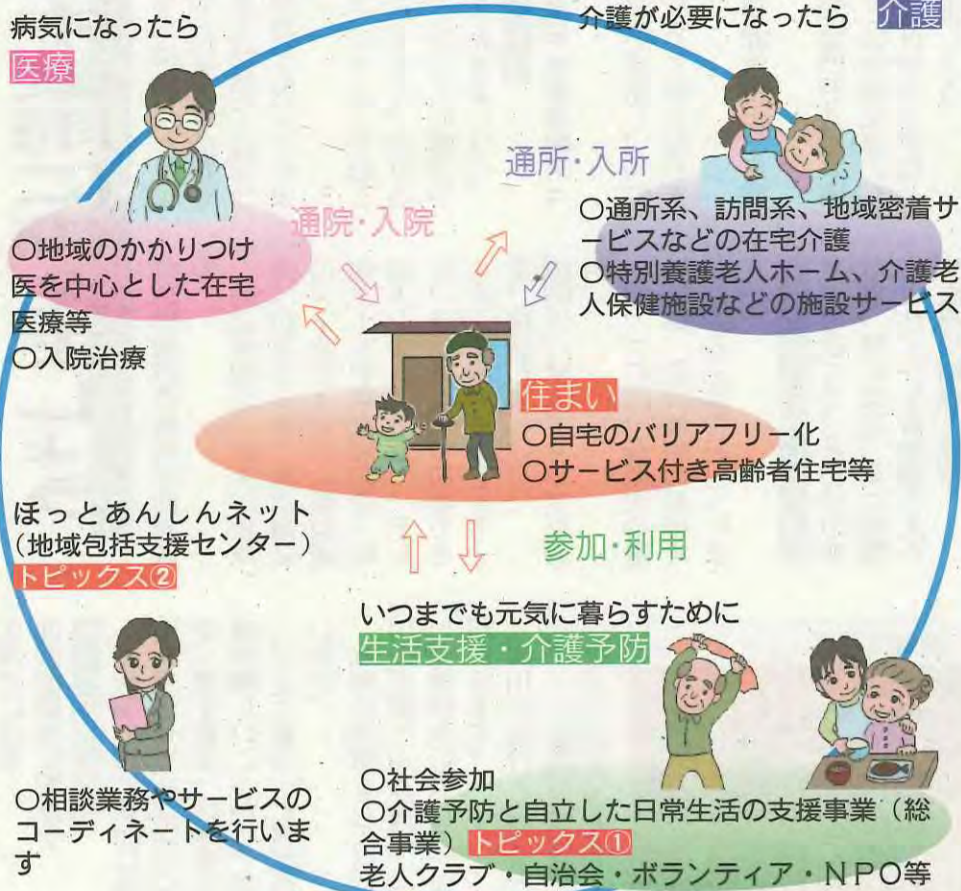


# 地域包括ケアシステムのイメージ



# いきいきと安心して暮らせるまちを目指して



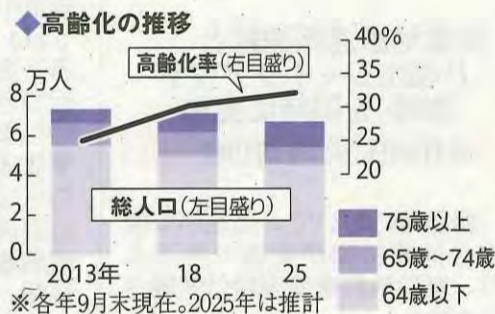
市では、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活」が切れ目なく一体的に提供される体制「地域包括ケアシステム」(左図)を構築するため、さまざまな取り組みを進めています。

☎高齢介護課(0983・5471)

### 八幡市の人口の変化と課題

人口減少や少子高齢化が進み、団塊の世代が75歳以上となる2025年(令和7年)には、本市の65歳以上人口は2018年(平成30年)と比較して、ほぼ同数ですが、総人口が約4千人減少し、高齢化率は32%になると推計されています。また、国勢調査によると、平成27年の高齢者のいる世帯は、10年前と比較して約4千世帯増加しており、中でも、ひとり世帯の

高齢者が占める割合が増加している傾向があります。今後さらに高齢化が進むことが予測されており、介護給付費の増加、介護従事者の不足、医療と介護の連携、認知症高齢者の増加が懸念されています。



### トピックス① 総合事業とは?

介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業からなり、地域の特性や実情に応じた多様なサービスが提供されています。

**介護予防・生活支援サービス事業** ①国基準の訪問介護や通所介護サービス、②ボランティア等住民と連携し、地域のニーズに応じた市独自基準のサービスがあります。\*利用を希望される人は、地域包括支援センターへご相談ください。

## 市独自基準のサービス例



### ランチDeサービス

昼食を調理し、みんなでいただきます。料理が苦手な方も介助支援サポーター等が補助するので安心です。

実施日 毎週水曜日午前10時



### 利用者の声

「普段作らないような料理が作れて楽しいです。参加メンバーの雰囲気も良く、褒められるもんだから、つい調子に乗って調理してしまいます」(中島 昭彦さん)

ほかほか庵  
 地域の人の外出や社会参加が目的。健康体操をした後に、栄養士さんが作った

## トピックス② ほっとあんしんネット(地域包括支援センター)

中学校区域ごとに市内4カ所に設置。高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーが総合的に支援を行います。

今回は、地域包括支援センター梨の里管理者 古住圭永さんにお話をお伺いしました。

### 地域包括支援センターは地域のよろず相談所



地域包括支援センター梨の里 管理者 古住圭永さん

### ほっとあんしんネット(地域包括支援センター)一覧表

名称	住所	電話番号	担当圏域
梨の里	八幡柿木垣内25-1	982-0125	男山中学校圏域
やまばと	男山金振24-1	982-8000	男山第二中学校圏域
美杉会	男山泉19	971-3576	男山第三中学校圏域
有智の郷	内里北ノ口5-1	972-1000	男山東中学校圏域

地域包括支援センターでは、高齢者や家族、地域住民等から、介護保険制度や、福祉に関すること、生活するうえでの困りごと等の相談を受け、支援を行っています。

また、要支援と認定された人や、支援や介護が必要になる可能性が高い人が自立した生活が送れるよう、本人の出来る力を引き出し、活動や参加がしやすい環境づくりを行っています。

他にも、高齢者の権利を守る事業や地域の課題を地域の人々と一緒に解決していくためのネットワーク作りにも取り組んでいます。

### 地域で支え合う

子どもさんが遠方におられる等、市内でもひとり世帯や高齢者世帯が増えています。医療機関、介護サービス事業所、地域団体、ボランティア、近隣住民など地域で連携し、ニーズに応じて必要な支援をする等、地域の力が大切になっています。

### お気軽にご相談ください

まだまだ大丈夫、人の世話にはなりたくないなど、相談をためられる人もおられますが、早い段階で相談いただくことで、安心して生活が送れるようになり、心身状態の悪化を防ぐことが可能になります。困りごとがあれば、まずは、各地域包括支援センターへご相談ください。



### 一般介護予防事業

健康寿命を延ばし、自立した生活をおくること出来るよう実施しています。

○はつらつ健康教室○今からはじめる筋トレ講座○介護支援サポーター事業など